



本器は、アイソレータとアラームセッタを一体化した変換器で、各種センサから出力される直流電圧または直流電流信号を入力し、絶縁されたアナログ直流信号出力と、警報出力機能を兼ね備えています。

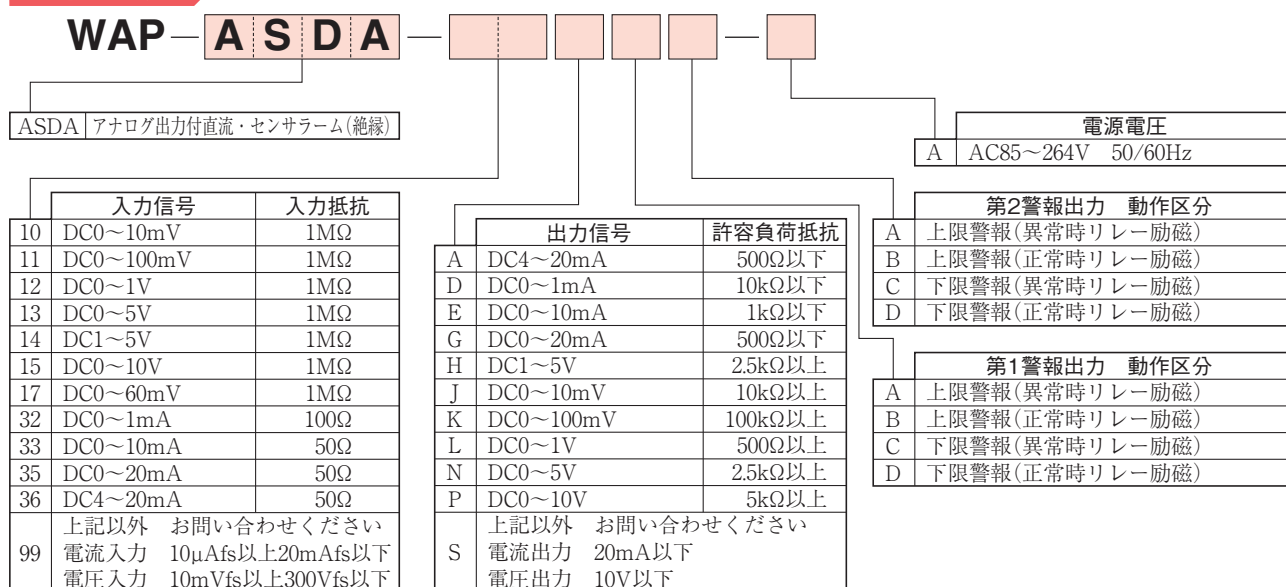
アナログ出力は、計装統一信号のほか、様々な種類を用意していますので、信号レベルの統一、増幅ができます。

警報出力は1T(1ab)のリレー接点出力で、設定値は前面のデジタルスイッチにより極性別にセットできます。

特長

- 設定が容易で確実なデジタルスイッチを表面に実装
- 低レベルの各種直流信号を直接入力できる汎用形
- 上限、下限とも各1T(1ab)接点
- ACフリー電源
- DINレール取付、据置取付両用のプラグイン形

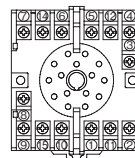
形式



仕様

入力信号	直流電流/電圧
出力信号	直流電流/電圧
アナログ出力精度	±0.2%fs(23℃にて)
比較方式	アナログ比較方式
設定器	デジタルスイッチ2点 第1警報・第2警報独立(各2桁)
設定範囲	0~99%、1%きざみ
設定精度	±1.0%fs
警報出力	リレー接点信号、接点構成1T(1ab)
リレー接点容量	AC250V・5A(Cosφ=1)、DC30V・5A(Max.) DC5V・10mA(Min.)
リレー寿命	定格負荷にて10万回
再現性	±0.5%fs
ヒステリシス	0.2%fs
応答時間	アナログ出力: 50ms(0~90%) 警報出力: 300ms(0~90%)
ゼロ・スパン調整範囲	±10%fs
動作表示	LED 第1警報: 緑色、第2警報: 赤色
使用温湿度	-5~+60℃ 90%RH以下(非結露)
温度特性	±0.015%fs/℃
絶縁抵抗	100MΩ以上(DC500V)
耐電圧	入力-アナログ出力-第1警報-第2警報-電源各端子間相互 AC2000V 1分間 入力-アナログ出力-第1警報-第2警報-電源各端子間相互
消費電力(電流)	約5.5VA(AC)
電源電圧の影響	±0.1%fs(定格電圧内)

外形寸法	90(H)×72(W)×137(D)mm
質量	約400g
構造	プラグイン(本体部とソケット部で構成)
結線部位	ベースソケットのM3.5セムスネジ部
端子ネジ材質	鉄に亜鉛メッキし三価クロメート表面処理
ケース色・材質	本体部: アイボリー色・耐熱性ABS樹脂 ソケット部: 黒色・PPO(ノリル)樹脂
取付方法	DINレール取付または壁面取付
外形図	外形寸法図VI-1参照
端子配列	



No.	記号	内容
1	No.2	C 第2
2	OUTPUT	H 警報出力
3	NC	空端子
4	INPUT	+ 入力信号
5	ANALOG	+ アナログ
6	OUT	- 出力信号
7	POWER	V 電源
8	NC	空端子
9	No.1	C 第1
10	OUTPUT	H 警報出力
11	No.2 OUTPUT	L 第2警報出力
12	INPUT	- 入力信号
14	POWER	U 電源
15	No.1 OUTPUT	L 第1警報出力

センサラーム・解説①

動作区分の選定

本器の電源が停電した時に、出力接点が安全サイドに入るように、用途に応じて動作方式を選定してください。

●加熱の場合の例

非通電時に下限接点がONになる動作方式を加熱制御に用いると、本器の電源が停電した時に、温度が設定値より低いものとみなされて、ヒータが動作し続けてオーバーヒートを招きます。従って、加熱の場合は、停電時に上限接点がONになる動作方式を選定してください。

●冷却の場合の例

非通電時に上限接点がONになる動作方式を冷却制御に用いると、本器の電源が停電した時に、温度が設定値より高いものとみなされて、クーラが動作し続けて過冷却を招きます。従って、冷却の場合は、停電時に下限接点がONになる動作方式を選定してください。

接点動作説明（代表例）

●センサラーム

上限警報（異常時リレー励磁）

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	A	リレー接点出力 (上限)			

下限警報（異常時リレー励磁）

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	C	リレー接点出力 (下限)			
					

上限警報（正常時リレー励磁）

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	B	リレー接点出力 (上限)			

下限警報（正常時リレー励磁）

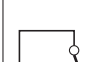
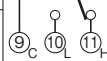
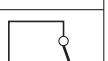
電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	D	リレー接点出力 (下限)			

●極性付直流センサラーム(ASB)、偏差アラームセッタ(ASH)

上限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	A	設定値>0% 上限警報 異常時 リレー励磁			
		設定値<0% 上限警報 正常時 リレー励磁			

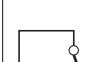
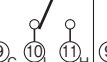
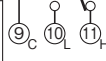
下限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	C	設定値>0% 下限警報 正常時 リレー励磁			
		設定値<0% 下限警報 異常時 リレー励磁			

上限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	B	設定値>0% 上限警報 正常時 リレー励磁			
		設定値<0% 上限警報 異常時 リレー励磁			

下限警報

電源			OFF	ON	
入力%と設定%の状態			関連なし	入力<設定	入力>設定
動作区分	D	設定値>0% 下限警報 異常時 リレー励磁			
		設定値<0% 下限警報 正常時 リレー励磁			

※偏差アラームセッタ(ASH)には、動作区分BおよびCはありません。

センサラーム・解説②

接点動作説明（代表例）

● アナログ出力付センサラーム

上限警報（異常時リレー励磁）

電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	A	リレー接点出力（上限）	

下限警報（異常時リレー励磁）

電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	C	リレー接点出力（下限）	

上限警報（正常時リレー励磁）

電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	B	リレー接点出力（上限）	

下限警報（正常時リレー励磁）

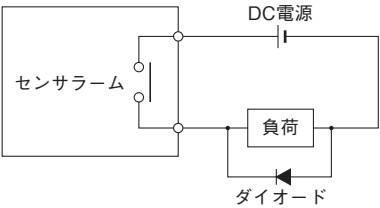
電源		OFF	ON
入力%と設定%の状態		関連なし	入力<設定 入力>設定
動作区分	D	リレー接点出力（下限）	

接点保護とチャタリング防止

誘導性負荷（DCモータ、コイル等）を駆動する場合は、リレー接点の保護とチャタリング防止のため、下図に準じた方法で対策を施してご使用ください。

● 直流電源の場合

負荷に並列ダイオードまたはCR火花消去器を接続してください。



● 交流電源の場合

負荷にバリスタまたはCR火花消去器を接続してください。

